事業所名	わくワーク広場おーぶ	支援プログラム	作成日	2025 年	3 月	28 日

法人（事業所）理念		私たちは、障害のあるなしにかかわらず、すべての人がその人らしく生きる輝いて生きることのできる社会を目指します。そのために、互いに認め合い、助け合い、共生し、誰もが「生まれてきてよかった」と安心して暮らせる環境を創っていきます。			
支援方針		「児童一人ひとりの強みを見つけ、それを活かし社会へつなげる」 遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行い、児童一人ひとりとそのご家族の福祉の増進を図ります。			
営業時間		8 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	(あり) なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	○来所時の検温・体調チェックと、活動終了時にケガや気持ちの確認を行います。職員が児童の心身の調子を把握するとともに、児童自身が自分の体調を振り返ったり、他者に伝えたりできるようになることを目的としています。 ○ＴＰＯに合わせた衣類の調節、身だしなみについて、児童自身での確認を促しながら意識づけを行っています。 ○学校休業日等には給食を提供し、食事動作や食事量の確認、安定したリズムでの生活のサポートを行っています。			
	運動・感覚	○児童の運動面の特徴（例：転びやすさの有無・その原因として考えられること等）個別に評価し、課題に合わせた運動遊びを提供しています（発達遊び・バルシューレなど）。 ○季節に合わせた屋外活動（ＳＵＰ、川遊び、キャンプ、登山など）を提供し、実際の場面での安全確認の方法や、五感をつかった遊びを実施しています。			
	認知・行動	○応用行動分析学（ＡＢＡ）の考え方を基に、児童の好ましい行動に肯定的に注目→強化（好ましい行動の増加）を目指しています。また、行動の目的・背景として、児童が何を求めているのかを分析し、児童が自身のニーズを適切に伝える練習を行っています。 ○コグトレ、ビジョントレーニングを通して、学習に取り組む上で基礎となる認知機能の向上を目指しています。			
	言語 コミュニケーション	○ニーズに応じて言語発達評価（Ｓ－Ｓ法、ＬＣ－Ｒ、ＬＣＳＡ、質問－応答関係検査、構音検査、読み書きスクリーニング検査など）を実施しています。児童の発達段階に合わせて個別訓練（ＰＥＣＳ、読み書きなど）も提供しています。 ○ＳＳＴでは、自分の好き（得意）・嫌い（不得意）を児童自身で振り返る機会を設定し、適切に断ったり交渉したりできるスキルの獲得を目指しています。また、プライベートゾーンやパーソナルスペースについても繰り返し確認を行い、自分と相手を守る方法について学ぶ機会を提供しています。 ○アンガーマネジメントや安全なＳＮＳの活用、金融セミナーなど、児童たちの日常生活で身近なことがらについて外部講師による講座も開催しています。			
	人間関係 社会性	○低学年から就労を見据え、挨拶・報告・援助要求などのスキル獲得を目的としたプレワーク活動（お仕事体験）を提供しています。その中で、地域の方とも積極的に交流し、実践場面でのあいさつ等の練習を行っています。 ○話し合うスキル獲得を目的に、児童間で解決方法や活動リクエストなどを話し合う場面を設定しています。 ○集団への参加が難しい児童に対しては、個別対応から少しずつ集団との接点を拡げ、児童自身が「大丈夫」と感じながらステップアップできるよう活動を提供しています。			
家族支援		ペアレント・トレーニング、外部講師による保護者向け講座の開催（アンガーマネジメント、コーチングなど）。	移行支援	不登校児童の受け入れを行っており、家庭・学校や関係機関との連携を密にし、学校への復帰を支援しています。	
地域支援・地域連携		市町村からの研修依頼に対応。 地域交流活動を通して、育児に悩む地域の方が気軽に相談・見学できる施設を目指しています。	職員の質の向上	研修会（発達支援コーチ、コグトレ、ペアトレ指導者など）への参加 他事業所の見学・意見交換など	
主な行事等		アウトドア活動（ＳＵＰ・カヌー、登山、キャンプなど）、クリエイティブ活動（地域の工芸体験、季節の製作など）、地域交流活動（子ども達によるカフェ活動、ボッチャ大会など）、クリスマス会、誕生日会			